

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場会社名 株式会社サン・ライフ 上場取引所 大
 コード番号 4656 URL http://www.sunlife.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 比企 武
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役業務支援部長 (氏名) 石野 寛 (TEL) 0463-22-1233
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	8,111	△0.4	939	△6.5	1,038	2.9	604	12.8
24年3月期第3四半期	8,147	1.0	1,004	12.1	1,009	4.8	535	0.8

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 671百万円(59.9%) 24年3月期第3四半期 419百万円(△17.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	93.98	—
24年3月期第3四半期	84.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	35,433	4,754	13.4
24年3月期	35,322	4,158	11.8

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 4,754百万円 24年3月期 4,158百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
25年3月期	—	15.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	1.1	1,300	10.8	1,350	10.9	650	1.6	102.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

期中における重要な子会社の異動に関する注記

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 当第1四半期会計期間より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P3「2. サマリー情報(注意事項)」に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	6,820,000株	24年3月期	6,820,000株
25年3月期3Q	336,795株	24年3月期	496,795株
25年3月期3Q	6,429,678株	24年3月期3Q	6,323,207株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表等	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間売上高は前年同期比0.4%減の8,111百万円となりました。

ホテル事業は、多様な婚礼ニーズに応えるために、積極的な広告・営業活動を展開した結果、小規模な婚礼やフォトプランでの施行組数の増加により、1組あたりの売上高が減少したものの、婚礼施行組数、宴会件数の増加により売上高は前年同期比0.2%増の2,251百万円、また、営業費用は売上の増加に伴い仕入が増加し、さらには積極的な広告展開を推進したため前年同期比2.2%増となり、営業利益は44百万円(前年同期比53.7%減)となりました。

なお、婚礼を控えるお客様へ訴求力を高めるため、平成24年9月にザ・ウィングス海老名においてチャペルや宴会場の改装、さらには平成24年12月に八王子ホテルニューグランドにおいて宴会場の改装を実施いたしました。

式典事業は、引続き定期的なご葬儀勉強会、生前相談会等を開催するとともに、積極的な広告宣伝を展開してまいりました。さらにはお客様のご葬儀に対する不安や希望などに個別にお応えすべく、「ご葬儀・法要相談センター」での電話相談、および平成24年8月には厚木市において「ご葬儀相談サロン厚木店」を新規開設するなどお客様により近づく取組みを行ってまいりました。また、ご葬儀の小規模化に対応するため、既存施設のリニューアルも積極的に行ってまいりましたが、当第3四半期連結累計期間においては、当社の営業エリアにおける死亡者数が減少したためご葬儀件数は減少しました。その結果、売上高は前年同期比1.3%減の5,352百万円となり、営業利益は前年同期比2.4%減の1,410百万円となりました。

その他の事業は、在宅介護サービス利用者、有料老人ホーム入居者、少額短期保険加入者の増加を目指すため、広告活動、サービス品質向上などの活動を深めてまいりました。当第3四半期連結累計期間においては、有料老人ホーム、少額短期保険の収入が増加したため、売上高は前年同期比5.6%増の507百万円となり、営業利益は同年同期比26.3%増の108百万円となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益は前年同期比6.5%減の939百万円となりました。また、経常利益は前年同期に発生した投資有価証券売却損が発生していないため前年同期比2.9%増の1,038百万円、四半期純利益は受取保険金の計上等により、前年同期比12.8%増の604百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は35,433百万円となりました。

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ111百万円増加し、35,433百万円となりました。これは、減価償却費の計上等による有形固定資産の減少204百万円、のれんの償却等による無形固定資産の減少192百万円、供託金の取り崩し等による投資その他の資産が916百万円減少した一方で、現金及び預金の増加等による流動資産の増加1,426百万円によるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ484百万円減少し、30,678百万円となりました。これは、未払金の減少168百万円、未払法人税等の減少219百万円等によるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ595百万円増加し、4,754百万円となりました。これは、利益剰余金の増加374百万円、自己株式の処分154百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期の業績につきましては、概ね予想通り推移しており、現時点では平成24年5月9日に公表いたしました当期連結業績予想はそのまま据え置くことといたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。なお、当該変更が当第3四半期連結累計期間の損益及びセグメント情報に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,569,568	10,111,800
売掛金	333,643	410,856
有価証券	1,075,689	799,112
商品及び製品	37,929	38,029
原材料及び貯蔵品	73,996	74,630
その他	288,721	372,016
貸倒引当金	△5,234	△5,385
流動資産合計	10,374,314	11,801,061
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,834,895	6,644,693
土地	9,426,281	9,426,281
その他（純額）	327,695	313,056
有形固定資産合計	16,588,872	16,384,031
無形固定資産		
のれん	1,360,863	1,185,895
その他	396,423	379,120
無形固定資産合計	1,757,287	1,565,016
投資その他の資産		
供託金	1,973,165	814,365
その他	4,679,537	4,920,140
貸倒引当金	△55,803	△54,010
投資その他の資産合計	6,596,899	5,680,494
固定資産合計	24,943,058	23,629,542
繰延資産		
開業費	4,719	2,949
繰延資産合計	4,719	2,949
資産合計	35,322,093	35,433,553

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	571,803	581,304
未払金	408,059	239,405
未払法人税等	366,200	146,908
引当金	138,850	101,845
その他	788,733	805,594
流動負債合計	2,273,647	1,875,057
固定負債		
前払式特定取引前受金	28,080,599	27,937,513
引当金	217,305	227,332
その他	591,925	639,046
固定負債合計	28,889,830	28,803,892
負債合計	31,163,478	30,678,949
純資産の部		
株主資本		
資本金	610,000	610,000
資本剰余金	236,733	236,733
利益剰余金	3,822,809	4,197,202
自己株式	△480,030	△325,466
株主資本合計	4,189,512	4,718,469
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△30,897	36,135
その他の包括利益累計額合計	△30,897	36,135
純資産合計	4,158,615	4,754,604
負債純資産合計	35,322,093	35,433,553

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	8,147,801	8,111,256
売上原価	5,792,298	5,796,064
売上総利益	2,355,503	2,315,191
販売費及び一般管理費	1,351,105	1,376,073
営業利益	1,004,397	939,117
営業外収益		
受取利息	22,287	36,933
受取配当金	16,512	24,803
前受金月掛中断収入	53,570	40,770
不動産賃貸収入	11,784	14,180
投資有価証券売却益	66,744	2
その他	32,085	38,020
営業外収益合計	202,984	154,711
営業外費用		
不動産賃貸費用	9,607	6,623
投資有価証券売却損	107,668	—
前受金復活損失引当金繰入額	45,294	43,119
その他	35,648	5,713
営業外費用合計	198,218	55,456
経常利益	1,009,162	1,038,372
特別利益		
受取保険金	—	41,541
特別利益合計	—	41,541
特別損失		
固定資産除売却損	9,012	12,472
投資有価証券評価損	22,922	887
投資有価証券売却損	—	1,019
固定資産圧縮損	—	10,780
特別損失合計	31,934	25,159
税金等調整前四半期純利益	977,227	1,054,753
法人税、住民税及び事業税	373,640	374,392
法人税等調整額	67,642	76,071
法人税等合計	441,282	450,464
少数株主損益調整前四半期純利益	535,945	604,289
四半期純利益	535,945	604,289

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	535,945	604,289
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△116,208	67,032
その他の包括利益合計	△116,208	67,032
四半期包括利益	419,736	671,321
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	419,736	671,321

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ホテル事業	式典事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	2,246,964	5,420,292	7,667,256	480,545	8,147,801	—	8,147,801
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	92,453	—	92,453	15,854	108,307	(108,307)	—
計	2,339,417	5,420,292	7,759,709	496,400	8,256,109	(108,307)	8,147,801
セグメント利益	96,361	1,444,784	1,541,145	85,568	1,626,714	△622,317	1,004,397

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護事業、ファイナンシャル・サポート・サービス、有料老人ホーム事業、少額短期保険業他が含まれております。

2 セグメント利益の調整額△622,317千円には、セグメント間取引消去30,723千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△653,040千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ホテル事業	式典事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	2,251,850	5,352,022	7,603,873	507,383	8,111,256	—	8,111,256
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	85,997	—	85,997	17,043	103,040	(103,040)	—
計	2,337,847	5,352,022	7,689,870	524,426	8,214,296	(103,040)	8,111,256
セグメント利益	44,659	1,410,696	1,455,356	108,068	1,563,424	△624,306	939,117

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護事業、ファイナンシャル・サポート・サービス、有料老人ホーム事業、少額短期保険業他が含まれております。

2 セグメント利益の調整額△624,306千円には、セグメント間取引消去37,727千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△662,034千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。